

かけはし



尾張旭市立三郷小学校 第7号 令和元年11月6日(水)

One Team 3 1の物語～One for All, All for One～

校長 井田 寿

ラグビーワールドカップ2019日本大会で南アフリカ共和国が優勝しました。初の8強入りを果たした日本代表キャプテンのリーチ・マイケル選手は「ベスト8はすごくうれしい。……試合に出た選手も出られなかった選手も31人全員がワンチームになれた。試合に出られなかった5人の選手は、試合中に水を運んでくれたり、練習相手になってくれたり、アドバイスをしてくれた。厳しい練習を31人で乗り越えたからこそチーム全員の心が一つになり、ベスト8という目標が達成できた。」と大会を振り返っていました。



【円陣を組むラグビー日本代表】

ラグビーのチームプレイ精神を表すときに使われる「One for All, All for One」。一般的には「一人はみんなのために、みんなは一人のために」と解釈され、有名な格言として知れ渡っています。しかしながら、元日本代表監督の故平尾誠二氏は、この解釈は間違いであると伝えています。厳密に言えば、後半の「All for One」が誤訳されて伝えられていると述べているのです。平尾氏によれば、後半の「One」の意味は「一人」ではなく、「勝利」を意味する「Victory」である、つまり「One for All, All for One」は、「一人はみんなのために、みんなは勝利のために」が正しいというのです。さらに、「一人一人が強い意識をもって勝利に向かって努力し、実力をレベルアップすることが大切。どんな優秀な選手でも一人でできることには限界がある。しかし、チームになれば1+1が3にも5にもなる。相乗効果を発揮して勝利をつかむのだ。」と述べています。

「みんなは勝利のために」という解釈は、学校現場においてそぐわないかもしれません。過日行われた運動会のように、技や動きの習得に時間がかかる子に対して、周りの子が助言し励ますことで、その子の力が高まるようになるなど、多くの人で一人をサポートすることが必要とされる、「All for One」＝「一人のために」という状況もあります。ではここで、平尾氏の言う「勝利」を「目標」に置き換えるとどうでしょうか？一人一人が自分の力を伸ばし、その力を合わせながら一つの目標(One)に向かって突き進む……。

学校教育でのAll for Oneは、平尾氏の解釈を広げ、一人一人の子どもたちにとって、「みんなは一人のために」、そして「みんなは目標のために」を意味する言葉でありたいと思います。様々な機会を捉えて、みんなで目標を考え、よりよい三郷小学校をつくっていきましょう。



一人一人が輝けば、学校全体が輝くよ！